

CBS 220シリーズスイッチでのPnPの設定

目的

このドキュメントの目的は、Cisco Business(CBS)220シリーズスイッチでプラグアンドプレイ(PnP)を設定する方法を説明することです。

概要

ネットワークプラグアンドプレイ(PnP)は、ネットワークPnP対応デバイスと連携するサービスです。ネットワークPnPを使用すると、ファームウェアとデバイスのコンフィギュレーションファイルを一元的に管理できます。さらに、新しいネットワークデバイスをゼロタッチで導入できます。

CBS220シリーズスイッチは、PnPのサポートを追加します。この機能により、ネットワーク内のこれらのスイッチの導入と管理が簡素化されます。もっと知るために、読み続けなさい！

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS220シリーズ ([データシート](#)) | 2.0.0.17

PnPの設定

手順 1

CBS220スイッチにログインします。



Switch

admin 1

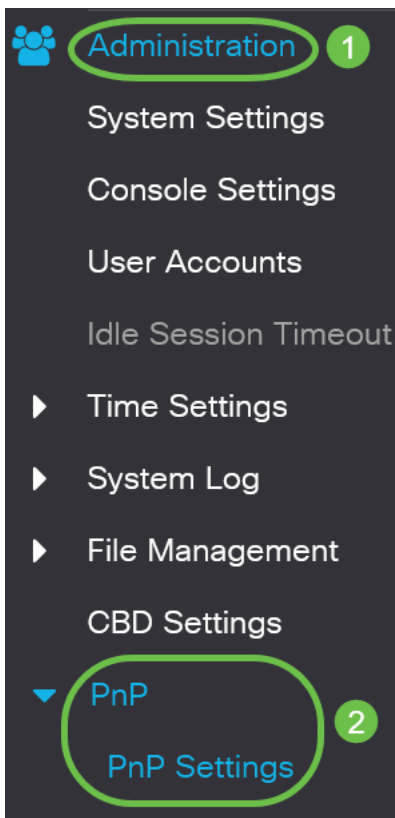
●●●●●●●● 2

English ▼

Log In 3

手順 2

[Administration] > [PnP] > [PnP Settings]を選択します。



手順 3

[PnP設定]セクションで、[PnP状態を有効にする]チェックボックスをオンにします。
このコマンドはデフォルトで有効になっています。

PnP Settings

PnP State: Enable

手順 4

[検出タイムアウト]フィールドに時間を秒単位で入力します。これは、スイッチが失敗した後にPnPサーバの検出を再試行するまで待機する時間です。デフォルト値は 60 秒です。

PnP Settings

PnP State: Enable

Discovery Timeout: (Range: 1 - 2000000, Default: 60)

手順 5

PnPトランスポートのオプションを選択してください。これには、設定情報、使用するトランスポートプロトコル、PnPサーバアドレス、および使用するTCPポートの検索が含まれます。次のオプションがあります。

- [自動(Auto)] : このオプションを選択すると、PnP設定はDHCPオプション43から取得されます。DHCPオプション43から設定を受信しない場合は、次のデフォルト値が使用されます。
 1. デフォルトのトランスポートプロトコルHTTP。
 2. PnPサーバのDNS名「pnpserver」、およびHTTPに関連するポート。「pnpserver」名がDNSによって解決されない場合は、DNS名「devicehelper.cisco.com」を使用してCisco PnPサービスが使用されます。デフォルト設定オプションを選択すると、PnP Transportセクションのすべてのフィールドがグレー表示されます。
- 静的 : PnPトランスポートに使用するTCPポートとサーバの設定を手動で設定します。

PnP Transport

PnP Transport: Auto
 Static

Transport Protocol: HTTPS
 HTTP

Server Definition: By IP Address By Name

IP Version: Version 6 Version 4

手順 6

ステップ5でPnP TransportにStaticを選択した場合は、HTTPSまたはHTTPの横にあるチェックボックスをオンにしてTransport Protocolを選択します。

PnP Transport

PnP Transport: Auto
 Static

Transport Protocol: HTTPS
 HTTP

ステップ7

[サーバの定義]フィールドで、PNPサーバをIPアドレスで指定するか名前で指定するかを選択してください。

Server Definition: By IP Address By Name

手順 8

手順7でIPアドレスを選択した場合は、IPバージョンを選択します。

- バージョン6:IPv6
- バージョン4:IPv4

IP Version: Version 6 Version 4

手順 9

[サーバIPアドレス/名]フィールドに、PNPサーバのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

Server IP Address/Name:

手順 10

[TCPポート]フィールドにポート番号を入力します。[Transport Protocol:443(HTTPS)、HTTPの場合は80。

TCP Port: (Range: 1 - 65535, Default: 443)

手順 11

[Apply] をクリックします。パラメータが実行コンフィギュレーションファイルにコピーされます。

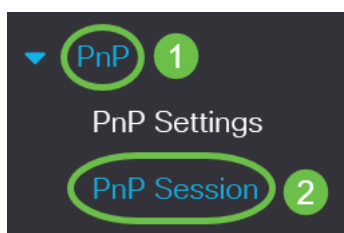
PnPセッション

[PnP Session]画面には、現在有効なPnPパラメータの値が表示されます。パラメータのソースは、該当する括弧で囲まれて表示されます。

PnPパラメータに関する情報を表示するには、次の手順を実行します。

手順 1

[Administration] > [PnP] > [PnP Session]を選択します。



手順 2

次のフィールドが表示されます。

- 管理ステータス : PnPが有効かどうか
- [Operational Status]:PnPが動作可能かどうか
- PnP Agent State : アクティブなPnPセッションがあるかどうかを示します。可能な値はDiscovery Waitです。ディスカバリ;受信不可Disabled;セッション;セッション待機
- Transport Protocol:PnPエージェントセッション情報を表示します。
- [Server Address]:PnPサーバのIPアドレス
- TCPポート : PnPセッションのTCPポート

PnP Session

Administrative Status: Enabled

Operational Status: Ready

PnP Agent State: Discovery Wait

Transport Protocol: HTTPS

Server Address: devicehelper.cisco.com.

TCP Port: 443

結論

それだ！CBS220スイッチでPnPが正しく設定されました。

その他の設定については、『[Cisco Business 220シリーズスイッチアドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。